

住商同窓会報

発行・大阪市立住吉商業高等学校同窓会 〒559-0013 大阪市住之江区御崎7-12-55 (題字・松本善次)

大阪市立住吉商業高等学校校歌



母校は心の故郷

楽しい集いに 参加しましょう

一、古き歴史の住之江や
色こき緑日に映えて
根深く生うる若松の
栄かゆく末の頼もしき
われら われらの
住吉商業高校

二、嵐吹くとも地ゆるとも
心はかたき金剛の
雄々しき姿仰ぎつつ
学びの道に励むなる
われら われらの
住吉商業高校

三、流れ豊かに大和川
鏡の如き水の面
汚れに染まぬ若き日の
尽せぬ命たたえつつ
われら われらの
住吉商業高校

四、平和日本の動脈と
名に負う都大阪の
運命を荷う若人の
行手を照らすともしびは
われら われらの
住吉商業高校

平成25年度

同窓会総会及び懇親会開催

- 一、日時 5月19日(日)(午前10時30分受付)
- 二、会場 天王寺都ホテル6階 吉野の間東
- 三、総会 午前11時より
- ◆平成24年度事業及び決算報告
- ◆平成25年度事業計画・予算案審議等
- ◆その他
- 四、懇親会 正午より
- ◆ブッフエパーティー形式。友人や恩師と楽しくお喋りしよう
- ◆サックスカルテット
- ◆MASHの演奏やピ
- ◆ンゴゲームで盛り上げます

会費	無料
◆新卒業生	
◆平成24年卒業生	一、〇〇〇円
◆平成23年以前卒業生	五、〇〇〇円
◆教職員	三、〇〇〇円

◎今年も新入会員が楽しい企画で盛りたてます。

出席の方は同封のハガキでお申し込み下さい。できるだけ5月9日必着で「返信下さい」。

■電車をご利用のお客様へ

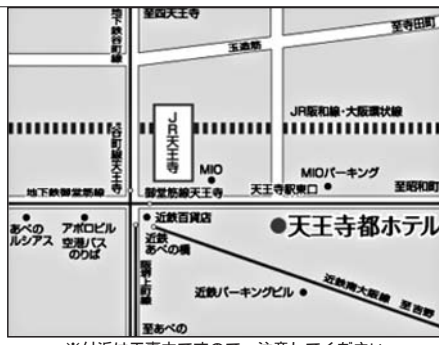
- JR天王寺駅東口正面、地下鉄天王寺駅・近鉄大阪阿部野橋駅直結

■空港よりお越しのお客様へ

- 大阪(伊丹)国際空港から直通バスで30分。
- 地下鉄梅田駅・JR阪和線特急で29分。

■お車で越しのお客様

- 阪神高速環状線天王寺出口より約10分。
- お車で越しのお客様は近鉄パーキングビルをご利用ください。3時間無料



※付近は工事中ですので、注意してください

ごあいさつ



同窓会の皆さんへ

同窓会会長 後藤 雄

風薫るさわやかな季節を迎えましたが、皆様方には健やかにご活躍のこととお喜び申しあげます。平素は母校同窓会にご支援・ご協力いただきありがとうございます。

願っていました。二年遅れで、立替の工事がましました。来年三月の卒業式が、新体育館で挙行出来ることを楽しみにしています。

本校は、明治三十六年育英商工補修学校を母体として設立され、昭和十五年四月に甲種の大阪市立住吉商業学校として住之江の地に第一歩を踏み出しました。第二次世界戦争により体育館と校舎の一部が焼失。昭和二十三年に学区制改革によって芦池商業と合併。男女共学となり心齋橋の芦池校舎に移り、昭和二十七年に現在地の思い出の場に帰ることができました。こうした激動にも負けず先輩たちによって築かれた伝統が良き校風となり、立派な学校に育ってまいりました。

母校体育館は、昭和二十七年に小さな体育館が、後援会等の負担によりたてられました。

そしてさらに、昭和三十八年に、現在の体育館が建て替えられましたが、最近では傷みが激しくなり、母校創立七十年には新体育館の建設をお

平成二十五年総会は、五月十九日、天王寺都ホテルで開催いたします。会員の皆様多数ご参加いただき、総会を盛り上げていただきますようお願いいたします。



平成24年度 同窓会総会 平成24年5月20日(日)



商業高校卒業以来の卒業生総数

年度	男	女	計
昭23~40	2,924	2,084	5,008
昭41~50	1,200	3,106	4,306
昭51~62	573	4,099	4,672
63	47	364	411
平成1	36	370	406
2	46	343	389
3	54	346	400
4	50	323	373
5	68	253	321
6	51	249	300
7	29	266	295
8	36	234	270
9	49	205	254
10	37	187	224
11	38	201	239
12	25	228	253
13	29	209	238
14	22	197	219
15	29	183	212
16	30	196	226
17	22	200	222
18	26	184	210
19	39	174	213
20	26	170	196
21	20	176	196
22	25	172	197
23	22	197	219
24	22	194	216
計	5,574	15,109	20,683

同窓会賞表彰者(検定1級取得者)

- (1)全商簿記実務検定: 白倉 優人 延山 大生, 小池 友香 東 寛, 有馬 彩花
- (2)全商珠算・電卓実務(珠算)検定: 山崎 香織 有馬 彩花
- (3)全商珠算・電卓実務(電卓)検定: 加藤 僚馬 平野 祐基, 山下 直人 伊藤 優美, 櫻川 葵 馬場 朱音, 南谷 彩香 吉岡 紋芽, 吉田 夢菜 内田 優貴
- (4)全商情報処理検定: 安田 沙矢 浅田 歩美, 掛水 咲織 近藤 侑希, 杉尾 七海 中谷 友子, 山崎 香織 岡崎 佑希, 西山 睦美 松本 里菜, 山下 志帆 山田真梨乃, 有馬 彩花 石塚ふ美恵, 児玉由美香 駒井 留美, 風本 佳奈
- (5)全商ワープロ実務検定: 依田 玲一 小池 友香, 平野 未来, 加藤 僚馬 依田 玲一, 錦見 卓音 小池 友香, 松本 幸恵 吉田 夢菜, 角田 果穂



ビジネス社会で生きる力



大阪市立住吉商業高等学校 校長 吉田 常行

住吉商業高等学校同窓会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より母校の教育活動の振興に暖かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

月日が経つのは早いもので、着任からもう一年が経ちました。昨年の一年生から変更された紺のブレザー・スツタイルの制服も住商の制服として定着してきました。今年、以前の茶色いブレザーの制服が、三年生のみとなってしまいます。また、本年度の新入生から学習指導要領も改訂されます。住商も少しずつ変化しています。そして、今年最も大きく変化を遂げるのが体育館です。三月十一日に建設業者が決定し、二十七日には、市の都市整備局の方と業者の方々が本校に打合せに来られました。いよいよ四月から念願の体育館の新築工事が開始されます。工事期間は、約一年で、来年の三月には、新体育館が完成し、旧体育館が解体されます。住商は、様々な形で変化をしています。現役の時も卒業後も、住商での高校生活が楽しかった、いい思い出がいっ

ばいだったと言われる学校にしたいと思っています。さて、昨年度も書きま

が、本校の校訓であります「誠実・明朗・進取」は、ビジネス社会で生きていくためには、大変重要な資質です。この校訓を大切に、教育活動を実践していきたいと思っています。また、検定を取得するだけでなく、取得した検定を生かす能力も大切にしていきたいと思っています。住吉商業の卒業生には、自分の持つ力をビジネス社会で大いに発揮して欲しいと願っています。さらに、ビジネス社会において、必要なコミュニケーション能力の第一歩として、「挨拶の励行」も昨年度に続き、実施してまいります。同窓生の皆様も学校を訪れた際は、生徒に声をかけていただき生徒の挨拶の励行にご協力ください。また、昨年度「大阪市立学校活性化条例」が制定され、それに基づき学校協議会を設置しました。学校協議会で学校の教育方針などご審議いただき、学校運営に反映していくこととなります。これからも、積極的に情報発信を行い、開かれた学校づくりを推進していきたいと思っています。

住吉商業高校の益々の「ご発展」と皆様の「ご多幸を



大阪市立住吉商業高等学校 前教師 大東 正之 (現 鶴見商業高等学校 教頭)

同窓会の皆様におかれましては益々ご健勝ご活躍のこととお喜び申しあげます。平素は、住吉商業高校の教育活動に多大なるご理解・ご協力・ご支援を賜りまして厚くお礼申し上げます。早いもので、本校に赴任し、三年が過ぎました。

同窓会の皆様には、本当に色々な事でお世話になりました。文化祭など行事への参加・協力、卒業式における検定試験一級取得者表彰などいろいろな場面において、母校後輩のためにご尽力いただき、感謝の気持ちでいっぱい입니다。思い出もたくさんできましたが、その中でも、七十周年記念行事に際しましては、準備が進んでいくほど皆様の母校への想いが

ひしひしと伝わり、身が引き締まる思いを感じたものでした。

また、同窓会、後援会、PTAの方々が一一致団結をして連携をとっておられたことは心強い限りでした。「住商」での三年間でご教示いただいたことを今後に活かし、誠心誠意、全力を尽くしてまいります。

最後になりましたが、住吉商業高校の益々のご発展と皆様のご多幸をお祈りしております。今後とも、ご指導ご鞭撻賜りたくお願い申し上げます。

本当にお世話になりました。ありがとうございます。



本校を離任された先生

Table with 5 columns: 職名, 氏名, 教科等, 性別, 転出後の勤務先. Lists teachers who have left the school.

本校にお迎えした先生

Table with 5 columns: 職名, 氏名, 教科等, 性別, 転入前の勤務先. Lists teachers who have joined the school.

その他の異動は、紙面の都合でホームページをご覧ください。

平成
24年度

母 校 近 況

進路状況について

進路指導主事 五嶋 宗廣

進学についてはAO入試や指定校推薦入試での合格が多く、ほとんどの者が決定しました。入学後、各分野の勉強を頑張ってほしいものです。
就職については少し経済が回復したとはいえ、依然として厳しい状況が続いており、未決定者も多くおられます。今後も粘り強く就職活動に取り組むことが必要です。

平成25年 4月1日現在生徒在籍数

	クラス	男子	女子	在籍者
第1学年	6	38	206	244
第2学年	6	28	207	235
第3学年	6	16	191	207
合計	18	82	604	686

本年度卒業生 進路状況 (平成25年 4月1日現在)

	男子	女子	計
就職	6	46	52
大学・短 専門学校	9	38	47
家事・その他	4	51	55
計	3	59	62
	22	194	216

主な進路先

進 学

大阪経済大・大阪商業大・桃山学院大・阪南大・流通科学大・大阪樟蔭女子大・藍野大短大・大阪女学院短大・大阪成蹊短大・常盤会短大・大阪キリスト教短大・関西外国語大短大・大阪簿記法律専・大阪情報コンピュータ専・大阪調理製菓専・大阪プライダル専・大阪外語専・大阪歯科学院専・日本医療秘書専 など

就 職

泉州電業・アイリスオーヤマ・鳥居工務店・スリーエム・エムシステム技研・ライフコーポレーション・太平洋総業サービス・寶船冷蔵・吉川運輸・山文商事・蓬萊・新洋海運・全日警・大阪シーリング・藤田記念病院・住吉大社・自衛隊 など

同窓会に寄せて



元教諭 近藤 健司

同窓会の皆様、お久しぶりです。私は、昭和三十二年の春に、住商に新卒で赴任して来ましたので、今から五十数年前になります。当時は木造の校舎の正門は北東側にあり、校舎に西側は、市電の走る通りまで、延々と畑が続いていました。木造校舎の木の温もりが懐かしく思い出されます。学年の学級数は六クラスで男生徒が23を占めていました。さて、私自身の人生を振り返りますと、住商は長年勤務した学校であり、忘れ得ない大きな部分を占めています。それだけに、同窓会で積る話に花咲かせることは、私の無上の喜びであり、教師という職業を選んでよかったと思う瞬間でありました。私の最初は昨年、卒業

五十年を記念して、奈良三笠山の眺望のすぐれた場所で記念同窓会を開き、手造りで記念誌を発行いたしました。クラス同窓会の運営については、幹事の人のご苦労されておられることと思います。私の知っている範囲で、うまく運営されている例を二つほど挙げておきます。お役に立てば幸いです。
(そのI) クラス同窓会が活発になるのは、卒業生が六十才を過ぎた頃からですね。それまでは、家庭のこと、仕事のこと、精一杯でなかなかゆとりの時間がとれない時期なので、或るクラスの例ですが、同窓会の世話役を常任幹事と当番幹事のダブル編成にしてスムーズにこなしています。常任幹事は、当番幹事を背後から支えて、相談にのり、助言し、また、次の当番幹

事を決めたとりの仕事をします。任期も複数年、当番幹事はその年の同窓会の運営をとりしきり、任期一年、このダブルキャストは、強力です。
(そのII) 卒業後、比較的若いクラスの例ですが、オリンピックの年に開くことを申し合わせて開催し成功しています。これですと、覚えやすく、気持ちの準備も出来ているので、出席率もよいそうです。以上二つの例を挙げましたが、「クラス同窓会の活発化」が「全体同窓会の活発化」につながってゆくことになれば、大変素晴らしいことと思います。
私も八十路近く、卒業生も上は70才近くになり、お互い健康のことが話題の中心を占めるようになって来ました。私も、少しでも、長く元気で同窓会に出席出来るよう、健康管理にとめて参ります。同窓会の皆様も、どうぞ、お元気で過ごし下さい。では、又。
(平成25年3月3日記)

吾が住商時代

昭和二十年卒旧二期生

岡野 弘

思えば大戦の始まった昭和十六年四月、初めて鰻谷校舎の校門を潜った。黒い帽、白線一本に千成瓢箪の校章、襟に「住商」と紺の羅紗地に一の襟章をつけ、国防色の制服、胸に名札を下げ、挙手の敬礼をし、希望と憧れに燃えて入学した紅顔の一年生。通学も浪速区立葉町（湊町西方）の自宅から学校（鰻谷校）まで、約三キロの道を毎日約三十分、足を鍛えるための徒歩通学をした新一年生、そして開戦の同年十二月、戦いが益々熾烈になるにつれ、学校生活もそれに順応した軍隊色一色の世代へと進んでいった。

「学校教練の目的は、学徒に軍事的基礎訓練を施し、と炎天下大声を張り上げた「各個教練」、三八銃を肩に食い込み乍ら歩いた「夜行軍」、最左翼から「右に向きを替え進め」で大廻り、背が小さいため小走りについていった「部隊教練」四列縦隊行進の「頭、右」の「分隊行進」など、数学が百点、国語が百点の答案

用紙を見せて敵が逃げるか！...」と徹底的に絞られた軍事教練が、今走馬灯の様に浮んでくる。

住吉商業の名物は、神社参拝に、勤労奉仕、見たか聞いたか、あの力、今日も今日とて、今日も今日とて、モッコ担ぎ：（旅姿三人男の替唄）

毎月決まった日に戦勝祈願、武運長久のため高津神社、住吉では護国神社、住吉大社への神社参拝は欠かさずお参りし、又八尾飛行場や住友電線、日立造船とモッコ担ぎに電線造りに船造りと、国のため勤労奉仕を繰返した。

「君は鉄とれ、我は槌、戦う道に二つなし、国の大事に殉ずるは、我等学徒の本文と、あゝ紅の血は燃ゆる。...」

昭和十九年戦いたけなわなる時、我々二期生B組はお国のため、学徒動員で堺の七道にあった、大日本セロロイドに火薬の原紙運搬、塩酸混入、硝火綿製造など、軍用用の火薬造りに専念した日々が、強烈な印象とし

て甦ってくる。

昭和二十年代に入って、商業学校は時代に即さないと言う事で、大國町の今宮工業学校へ臨時入学をし、三ヶ月間、力学に始まり、製図、鑄造、旋盤にと、工業課程を修了し、簿記、算盤、製図、旋盤を加え、更に軍事教練を身につけて、即戦力として軍人となって恥ずかしくない学生に磨かれていった。

そして卒業の日も間近な昭和二十年三月十三日夜半、大阪空襲のため大半が焼かれていった。十四日早朝、自宅より学校へ行く途中、上六駅前に立った時、上本町の台地から難波方面まで、見ゆる限り眼前一帯は焦土化し、まだ所々に火の手が残り、土蔵だけがポツンポツンと立並ぶ焼跡が、つらなり、とても難波まで歩いて行けず、登校を諦め途中で引返したことが、つい最近の様に思い出す。従って、卒業式も受けなかったのが残念で、後に卒業証書が郵送されてきた様に記憶している。

この様に吾が住商時代は、丁度戦争に始まり、戦争に終わった。「学生と戦争」の正に波乱万丈の学生生活であった。

喜寿萬歳「六期会」

森 弘育

平成七年「還暦の同窓会」と名付て初回を開催、不定期開催の本会も五回目を喜寿を祝して参集することになりました。

初回の参加者は六十余名、前会（平成十九年）は四十余名、今回は参拾名と漸減しています。欠席理由の大半は本人、或いは家人の療養介護のため止むを得ずということ。天命、天寿とはいえ、加齢による厳しい現実があります。

去る十二月七日、上六の「シェラトン都ホテル大阪」で掲記、同窓会を開催いたしました。会場には予めスクリーンを設置、定刻迄の待ち時間に修学旅行のスナップ写真等のスライドを鑑賞可能な様準備いたしました。六十年前の各々の姿に一驚、たちまち時間が逆戻りし、高三の雰囲気甦ったようです。

定刻になり、ご出席下さった飯野先生のご挨拶、松本先生のご発声による乾杯で和やかに進行了しました。

飯野先生は脳梗塞を発症された由ですが、これを克服、平成二十五年には米寿を迎えられます。意気益々盛んで、「生きることの使命感」につき、前向き、且つ力強く訓話されました。

同窓生の中で、当日最遠距離参加の横浜市在住の津山君に敬意を表し、卒業から今日迄の想い出を語って頂きました。矢張り東西の文化の違いに戸惑いがあったようです。特別な催しものも、カラオケもない三時間でしたが

楽しい時間は殊の他短かく感じるものです。卒業後、六十年、永らく会っていないくても、たちまち住商時代の顔に戻る同窓会。会えば時間の壁を乗り越える同窓会の誼。所謂、絆のより所として、今後とも共有したいものです。後期の別れよろしく散会后、誰ともなく喫茶テーブルにて、十名ほどが余韻を惜しみながら再会を約して帰路につきましました。



卒業50周年記念

G組クラス会

昭和37年卒業14期生

林(旧姓・向井) 寿美子



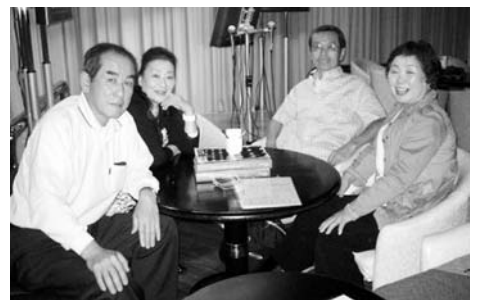
平成24年5月17日
 (木)箕面観光ホテル日
 帰り温泉プランが開催
 されました。出席者は
 男性7人女性4人です。
 受付午後2時半に女
 性3人ホテルに着くと、
 錚々たる男性5人が、
 お出迎ええしてくれ、
 すでに滝までひとっ走
 りして汗をかいておら
 れる方も居りました。
 「さあ、さあ。控室
 に荷物置いて、温泉入

ろうや！」
 なんと懐かしい素朴
 な、ひと声でしょう。
 私たちは住商を卒業
 して50年過ち来年は古
 希を迎えるのでありま
 す。エッ？誰が？改め
 て自分を見つめ直して
 しまいます。
 午後4時から酒席
 の宴です。元吹奏部の
 方のギターの爪弾きに、
 うっとりし、カラオケ
 名人の美声に乗せられ
 て、飲むほどに酔う程
 に酔眼を凝らして眺め
 たらかつての美少年達
 もひとかどの苦勞人と
 化しておられました
 美少女達も山あり谷
 ありを乗り越え：(50
 年ですぞ！)
 それでも健気に色褪せ
 ず、心の中は真紅に燃
 えて17才のままでした。
 私も相変わらずの極



楽トンボで、この年になっても夢見る夢子です。きつと神様は、おババ様にはしてくれないのでしよう。(充分になっていって)何故ならおジジ様、おババ様は尊敬に値する人がなるのですから。
 ところで私たちのクラスは個性が豊かでそれだからこそ魅力的な人々が揃っていました。今も広く社会に貢献されている方もおられ、立派なものです。
 ことに男性達の仲の良さは天下一品で、誰にでも誇れる存在です。この個性達をまとめて引っ張っていかれる幹事の御苦勞にエールを

「しあわせな時間をありがとう！」 3Gは不滅です。
 ※因みに、当日の氣象予報は5月なのに真夏なみの暑さで、雹が降るということでした(祟りか?)
 お開き後、泊られた4人の男性が無事でありますように。



平成24年5月17日 住商 G組クラス卒業50周年記念同窓会

去る5月17日に第14期生(昭和37年卒業)3年G組の同窓会が箕面観光ホテルにて開催されました。
 今年は早いもので、我々が卒業してから50年の節目の記念すべき年になります。
 当日は11名(内女性4名)の参加がありました。
 何年ぶりかで会う者もいましたが、宴会が始まり酒が少し入る頃には、完全に打ち解けました。

昭和37年卒業14期生

多田 博

3時間の宴会もあっと云う間に過ぎ去り、後は全員でカラオケを楽しみました。
 名残は尽きませんでしたが、来年の再開を約し、散会となりました。

近況報告では、未だ現役で活躍されている人もおられ、又女性からは学生時代のあの清らかだった乙女とも思えぬ大胆発言がどび出す等、収支笑いの絶えない会となりました。



昭和44年卒3年6組

クラス会だより

幹事 馬場 昇

平成24年11月23日、近藤健司先生に出席いただき昭和44年卒3年6組クラス会を20年ぶりに開催しました。参加は6人でしたけれども楽しいひと時でした。

近藤先生から懐かしい優しい口調で話をしていたいただき、クラス別の「風」を合唱したことや、夕闇の校庭のフォークダンスの甘酸っぱい思い出がよみがえりました。

木下(旧姓茂山)さんからは、珠算家として珠算塾を加美教室と今川教室の2カ所経営しており、大きな声で塾の生徒に指導することが元気の素との話や、大阪珠算協合理事として頑張っている話や、お孫さんに珠算の手ほ

本当にうれしかったです。楽しい集いは2時間余りであっという間に過ぎました。

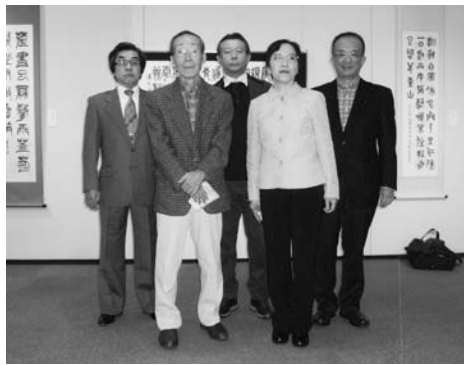
今後、高齢期の我が身に付き合いなから、杖を友にして級友に会う機会を作るために、毎年クラス会は春または秋に定例開催とすること、中村さんを女子幹事に決めました。

平成25年5月頃の再会を約束し、「波乱万丈」のお話の余韻をお土産に帰宅の途につきました。

追伸 原稿作成中、5月4日(土)の昼、南海高野線堺東駅近辺での開催が決まりました。

男性3人の話は還暦後元気で働く男の話が中心でしたが、高校生に還ったように、女子から巽君、山田君、馬場君と「君づけ」で声かけされて、青春の息吹が漂よい、青春の巨匠「M」のよう

どきをしている話を伺いました。



昭和46年卒旧3年5組

『還暦同窓会』!

23期 赤井 正雄

母校を卒業して四十二年、昨年十一月に「還暦同窓会」を開きました。連絡先が分からなくなりました。

級友も多くなり、当日は少ないながらも十二名が集いました。

会場は阿倍野のホテルで、バイキング形式の食事をとりました。

いつものように思っているに「あのころ」の話に花が咲くと思いきや、最初の乾杯と最後のごちそうさまの時だけ全員が揃い、あとは入れ替わり立ち替わりで食べることがメインになってしまいました。(笑)

折角の「還暦同窓会」がただの食事で終わらないよう、カラオケBOXに会場を移しました。やっとやっと



あのころの高校生に戻ってひとときの間に、懐かしい青春の時代を楽しむことができました。

いくつもの年月が時代とともに流れましたが、還暦を迎えて今もなお色褪せることなく鮮やかに、住商で過ごした「あのころ」はずっと心の中で生き続けていることを確かめたい、また次の同窓会で元気に顔を合わせることを楽しみに散会しました。

拝啓 春暖の候、皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

昭和48年卒第25期
学年同窓会
お知らせ

私たち住吉商業高等学校25期卒業生一同は、本年、卒業後40周年の節目を迎えるにあたり、学年同窓会を開催いたす運びとなりました。

各クラスの賛同者が集まり協議を重ねてまいりまして、開催の運びに辿りつきました。

ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、何卒ご出席くださいますよう、心よりお願い申し上げます。

皆様方にお会いできますことを楽しみにお待ちしております。

敬具
平成25年3月吉日

日時 平成25年5月26日(日)
受付開始 午前11時
開 宴 午前11時30分
会費 10,000円

場所 スイスホテル南海大阪
大阪市中央区 難波5-1-60
電話番号 06-6649-1111

大阪を知ろう

大阪の歴史・雑学

その4

前回までは、母校を中心として大阪市内の事象を紹介しましたが、今回は大阪府下に目を転じ紹介します。

河内長野市で語り継がれている「諸越長者伝説」を紹介いたします。

河内長野から観心寺に至る国道三二〇号線に架かる橋が「諸越橋」(地図矢印の処)です。命名の由来は橋を渡ったところの左側高所に居住したと伝えられる「もろこし」との交易で財をなした長者に因むものです。「もろこし」は

昔、日本から中国を指して呼んだ名称で、当時石川は「唐川」とも呼ばれ交易の船が往来していたようです。

何代にも亘って栄えた長者の暮らしは何不自由なく財は増える一方だったが、最後の代になった長者には、不幸なことにこれを譲る子供に恵まれず、毎日変化の乏しい生活を送っておりまして。

或る日のこと自分の地所を回った帰り道、暗くなった道を樂しげに語らいながら家路を急ぐ農夫の一家に出会った。その樂しげな一家に比べ自分達の暮らしほど詰らないものはない。何とか貧乏でもよい、あのようになりたいと願うようになっていたところ、ある時、一人の旅のお坊さんが来て、長者の話聞き、耐えられますか。その覚悟があるのですしたら、毎日家中で使った箸を家の外に捨てなさい。その箸が塚になる頃には望みが叶うでしょう」と教えてもらい、長者は、その教え通り毎日三度三度食事に使った箸を捨てていきました。

やがて、その箸の山が大き

い。何とか貧乏でもよい、あのようになりたいと願うようになっていたところ、ある時、一人の旅のお坊さんが来て、長者の話聞き、耐えられますか。その覚悟があるのですしたら、毎日家中で使った箸を家の外に捨てなさい。その箸が塚になる頃には望みが叶うでしょう」と教えてもらい、長者は、その教え通り毎日三度三度食事に使った箸を捨てていきました。

やがて、その箸の山が大き



な塚となる頃、長者は望み通り貧乏になり、遂に村人に施しを受けるまでになりました。贅を極めた長者夫婦は、生活の方法が全く知らず餓死したということでした。

箸塚は、府営公園内長野荘裏の樫の木のところ、長者は自分の地所近くの現富田林市嬉の東方山中に「翁石」、妻は麓の金毘羅神社の下の石川で「壘石」となっております。

仏教思想で、人間の持つ苦しみを八つに整理しております。(四苦八苦とも云います)根本的な苦しみである生・老・病・死の四苦に加え、

- 愛別離苦(あいべつりく) 愛する者と別離する苦しみ
- 怨憎会苦(おんぞうえく) 怨み憎んでいる者に会う苦しみ
- 求不得苦(ぐふとく) 求める物が得られない苦しみ

【五蘊盛苦(ごうんじょうく)】あらゆる精神的な苦しみの四つを合わせて八苦と呼んでおります。

「持てる者・富める者」充足したある種の空しさから生じる苦感、これが五蘊盛苦だと云います。「不服」の感情を解決するには、自身の心を見つめ直す事が必要ではないでしょうか。

八苦は、人間生きていく限り避けることが出来ない苦しみでしょう。

なお、五蘊盛苦とは、色(しき) 全ての物質を指し示す。この場合、「身体」機能が活発であるためにおこる苦しみ

受(しゅ) 物事を見る。外界から刺激を受ける「心」の機能

【五蘊盛苦(ごうんじょうく)】あらゆる精神的な苦しみの四つを合わせて八苦と呼んでおります。

「持てる者・富める者」充足したある種の空しさから生じる苦感、これが五蘊盛苦だと云います。「不服」の感情を解決するには、自身の心を見つめ直す事が必要ではないでしょうか。

八苦は、人間生きていく限り避けることが出来ない苦しみでしょう。

なお、五蘊盛苦とは、色(しき) 全ての物質を指し示す。この場合、「身体」機能が活発であるためにおこる苦しみ

受(しゅ) 物事を見る。外界から刺激を受ける「心」の機能

【想(そう)】見たものについて何事かをイメージする「心」の機能

【行(ぎょう)】イメージしたものについて、何等かの意志判断を下す「心」の機能

【識(しき)】外的作用(刺激とイメージ)、内的作用(意志判断)を総合して状況判断を下す「心」の機能

驢 鳴 犬 吠

と解説されております。少々堅い話になりました。合掌。

【参考文献】
般若心経入門
臨濟宗妙心寺派龍源寺住職 松原泰道著
河内長野高野街道記(インターネット)

「むかし、むかし、あるところにお爺さんとお婆さんがいました。お爺さんは山へ柴刈りに、お婆さんは川へ洗濯に行きました。」の書き出しに始まる、鬼退治で有名な桃太郎物語はご存じでしょう。

桃太郎伝説は、岡山県総社市を中心とする吉備地域、愛知県犬山市を中心として岐阜県可児市を含む尾張・東濃地域が有名ですが、他に奈良県磯城郡田原本町、香川県高松市、埼玉県大月市・上野原市地域等日本全国で広く語られておりますが、物語前半の桃太郎出生、成長過程、鬼退治出征時については諸説により違いがありますが、後半では桃太郎側の視点での勧善懲悪物語になっており孝行・正義・仁恕・尚武・明瞭等の修身の徳を体現した国民的英雄として語られております。

この物語を福澤諭吉は、自分の子供に日々渡した家訓

「ひびのをしへ」(学問のすすめ)の幼年版)の中で、一、桃太郎が鬼が島に行ったのは宝を取りに行く為だ。けしからん。

二、宝の持ち主は鬼である。持ち主のある宝を理由もなく獲りに行くとは、盗人と云うべき悪者である。

三、その鬼が悪者であって世の中に害をなすことがあれば、懲らしめることはとても良いことだが、宝を獲って帰り、お爺さんとお婆さんにあげたことは、ただ欲のための行為で、大変に卑劣である。と非難しております。

現代でも「本当は鬼ヶ島に押しかけた桃太郎が悪者ではないか」と思う方もおられます。

芥川龍之介は、大正十三年に桃太郎を題材に小説を書いております。第一章から第六章まであります。

その概略を紹介しします。

第一章では、

「むかし、むかし、大むかし、ある深い山の奥に大きい桃の木が一本あった。大きいとだけでは足りないかも知れない。この桃の枝は雲の上に拡がり、この桃の根は大地の底の黄泉の国にさえ及んでいた。」から始まり、その桃の実は八咫鴉により、雲霧の立ち昇る中に遙か下の谷川に落ちて、人間のいる国へ流れて行きお婆さんに拾われたと書かれております。

第二章は、

お爺さんとお婆さんは、腕白で怠け者であった桃太郎に内心愛想を尽かしていた。本人は鬼が島の征伐を思い立っていることを知り、一刻も早く追いついたさに本人の云うなりに入用のものを支度した。

犬猿雉のお伴に黍団子は、半分しかあげなかったこと。

犬猿雉は、仲のいい間柄でなくまとめるのに大変であったこと。が書かれております。

第三章は、

鬼が島は絶海の孤島ではあるが、美しい天然の楽土で、鬼は平和を愛していた等紹介しております。

第四章は、

桃太郎はこういう平和な楽土に突然攻め入り、鬼は惨敗降伏しました。

そのときの鬼の酋長と桃太郎の遣り取りを紹介しします。

(原文のまま)

「では格別の憐愍により、貴様たちも命は赦してやる。その代りに鬼が島の宝物は一つも残らず献上するのだぞ。」

「はい、献上します。」

「なお、そのほかに貴様の子供を人質にさし出すのだぞ。」

「それも承知致しました。」

鬼の酋長はもう一度額を土へすりつけた後、恐る恐る桃太郎へ質問した。

「わたくしどもはあなた様
に何か無礼でも致したため、御征伐を受けたことと存じて居ります。しかし実はわたくし始め、鬼が島の鬼はあなた様はどういう無礼を致したのやら、とんと合点が参りませぬ。ついでにはその無礼の次第をお明し下さる訣には参りませぬ。ついでにはその無礼の次第をお明し下さる訣には参りませぬ。ついでにはその無礼の次第をお明し下さる訣には参りませぬ。ついでにはその無礼の次第をお明し下さる訣には参りませぬ。」

桃太郎は悠然と頷いた。

「日本一の桃太郎は犬猿雉の三匹の忠義者を召し抱えた故、鬼が島へ征伐に来たのだ。」

「ではそのお三かたをお召し抱えなすったのはどういう訣でございますか？」

「それはもとより鬼が島を征伐したいと志した故、黍団子をやっても召し抱えたのだ。」

「どうだ？これでもまだわからないといえ、貴様たちも皆殺してしまおうぞ。」

鬼の酋長は驚いたように、



三尺ほど後へ飛び下がると、いよいよまた丁寧にお時儀をした。との事です。

なお、芥川龍之介は第五章・六章で、きつりと落ちをつけております。

なお、インターネットの「青空文庫」で全文読むことが出来ます。

鬼は、桃を大変嫌っております。

「鬼に金棒」でなく「桃」

なのかは、「古事記」の、伊弉那岐命と伊弉那美命との国造りまで遡らなくてはなりませんので、またの機会にさせていただきます。

桃は弥生時代から神聖視されていて桃を横穴式石室の入り口に置いた古墳もあったようです。桃は邪鬼を祓う神聖な食べ物であったようです。

他に、尾崎紅葉が鬼の立場

から書いたパロディ童話(鬼太郎)があります。

また、正岡子規、北原白秋、菊池寛・楠山正雄(児童文学者)等も桃太郎を小説の題材にしております。

最後に正岡子規句集より、

■桃太郎の咄しもたえて夜長哉

■桃太郎は桃金太郎は何からぞ

■桃太郎に桃金太郎に何をやる

お知らせ

平成二十二年四月十日発行会報二〇号「雑学」大阪編で、黒門市場の由来となる山門が黒い「圓明寺」が

会報編集部

【後記】

時代とともに桃太郎物語は、「暴力的な話」

だとして、絵本や子供向けの本では「鬼退治」でなく「話し合いで解決した」等と改変されていきます。

また、宝は、もともと村人のものであり、「取り返しに行く」と改変され、宝を取り返してもらった村人は、お札にその一部を桃太郎とお爺さ

らお婆さんに渡したとなっております。お詫言ひ
※お詫言ひ
文中敬称は省略させていただきます。



隣接してりましたが、明治四十五年一月の大火災で焼失してしまい、その後の「圓明寺」については不明でしたの

ですが、大阪市東住吉区照ヶ丘矢田に移転していることが判明致しました。
浄土真宗本願寺派のお寺です。
お知らせ致します。
事務局



黒門町にあった圓明寺

平成24年度 事業報告

時 期	事業・母校行事	主 要 活 動 内 容
4月2日	校長・事務長着任式	吉田校長・三宅事務長（4月1日付着任）
5月6日	役員会	同窓会総会・懇親会打合せ
5月20日	同窓会総会・懇親会	平成23年度事業報告・決算・監査報告 平成24年度事業計画案・予算案、会則改訂案
6月7日	母校体育祭	体育祭見学
6月16日	役員会	総会・懇親会の反省、八商会について
7月18日	役員会	八商会総会について
8月26日	役員会	八商会総会について
9月8日	八商会総会	八商会（大阪市立商業高等学校同窓会）総会運営（当番幹事校）
9月8日	役員会	八商會会長報告・反省会、文化祭の取り組みについて
11月2日	母校文化祭	住商PTAと「theえんにちpart2」共催
11月17日	役員会	文化祭参加報告、同窓会報について
2月6日	新任幹事会	新任幹事と総会打合せ
2月17日	役員会	総会運営、同窓会報、同窓会賞・卒業式について
3月4日	母校卒業式予行	同窓会賞授与（検定1級合格者37名）
3月5日	母校卒業式	第65回卒業証書授与式出席
3月24日	役員会	役員改選案、会計監査、総会運営（決算・予算案）、同窓会報について
3月29日	教頭離任	大東教頭（3月31日付離任）

平成24年度 同窓会決算書

収入の部

(単位 円)

項 目	24年度予算	収 入 額	予 算 比	摘 要
前 期 繰 越	5,791,485	5,791,485	0	
同 窓 会 費	1,000,000	1,075,000	75,000	5,000円×215名
臨 時 会 費	200,000	96,000	△ 104,000	5,000円×15名 3,000円×7名
協 力 金	70,000	77,000	7,000	
雑 収 入	1,000	1,086	86	受取利息等
合 計	7,062,485	7,040,571	△ 21,914	

支出の部

項 目	24年度予算	支 出 額	予 算 比	摘 要
総 会 費	750,000	567,015	△ 182,985	都ホテルにて懇親会費用
会 議 費	40,000	119,702	79,702	役員幹事会費用・新卒者打合せ経費
通 信・送 費	200,000	236,497	36,497	総会出欠ハガキ・文化祭案内等
印 刷 費	200,000	177,450	△ 22,550	会報印刷費
名 簿 制 作 費	60,000	52,500	△ 7,500	名簿データ更新管理代金支払い
保 守 費	400,000	277,620	△ 122,380	ホームページ・サーバー使用料等(H23・24年分)
交 際 費	20,000	0	△ 20,000	祝儀・不祝儀・餞別等
80 周 年 積 立	100,000	100,000	0	記念事業費用
学 校 行 事 協 力 費	50,000	39,500	△ 10,500	卒業証書用丸筒
八 商 会 会 費	100,000	116,000	16,000	
雑 費	200,000	65,525	△ 134,475	卒業生表彰経費等
合 計	2,120,000	1,751,809	△ 368,191	

△印 予算費減

収入の部 7,040,571円 - 支出の部 1,751,809円 = 次期繰越額 5,288,762円

母校80周年記念事業積立金

項 目	前年迄積立	本年積立	合計積立金
定額郵便貯金	100,000	100,000	200,000

平成25年 4月10日

以上の通りご報告申し上げます。

上記決算書の監査の結果、正確であることを認めます。

会 長 後 藤 雄

会計監査 土 平 俊 章

会計監査 古 橋 忠 男

平成25年度～26年度役員選任(候補)

役 職	氏 名	役 職	氏 名	役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	後藤 雄	副 会 長	馬場 昇	書 記	萩野 広子	常任幹事	西川 優姫
副 会 長	松田 忠夫	副 会 長	玉岡 照宏	書 記	是澤 美絵	相 談 役	菊屋 幸男
副 会 長	足立 敏雄	副 会 長	西村 幸広	会 計 監 査	古橋 忠男	参 与	藤原 信一
副 会 長	杉浦 勇	副 会 長	永村 洋子	会 計 監 査	土平 俊章	参 与	田中 秀夫
副 会 長	半田 實	会 計	宗像真砂子	常任幹事	吉内 優生	参 与	扇谷 順介

平成25年度 事業計画案

時 期	事業・母校行事	主 要 活 動 内 容 (予 定)
4月1日	教頭着任	杵本教頭
4月15日	同窓会会報発行	会報発送(新卒・前年卒・卒業10年毎の会員、拠金者、教職員他)
5月6日	役員会	同窓会総会・懇親会打合せ
5月19日	同窓会総会・懇親会	平成24年度事業報告・決算・監査報告 平成25年度事業計画案・予算案、平成25年度・平成26年度役員選任
6月	母校体育祭	体育祭見学
6月	役員会	総会・懇親会の反省、新常任幹事会
7月	役員会	八商会総会について
9月7日	八商会総会	八商会(大阪市立商業高等学校同窓会)総会出席
9月	役員会	八商会会長会報告、文化祭の取り組みについて
11月	母校文化祭	住商PTAと催し共催
12月	役員会	文化祭参加報告、同窓会報について
2月	新任幹事会	新任幹事と総会打合せ
2月	役員会	総会運営、同窓会報、同窓会賞・卒業式について
3月	母校卒業式予行	同窓会賞授与(検定1級合格者)
3月	母校卒業式	第66回卒業証書授与式出席
3月	役員会	会計監査、総会運営(決算・予算案)、同窓会報について

平成25年度 同窓会予算案

収入の部

(単位 円)

項 目	24年度実績	予 算 額	増 減	摘 要
前 期 繰 越	5,791,485	5,288,762	△ 502,723	
同 窓 会 費	1,075,000	1,000,000	△ 75,000	5,000円×200名
臨 時 会 費	96,000	100,000	4,000	懇親会会費
協 力 金	77,000	70,000	△ 7,000	
雑 収 入	1,086	1,000	△ 86	
合 計	7,040,571	6,459,762	△ 580,809	

支出の部

項 目	24年度実績	予 算 額	増 減	摘 要
総 会 費	567,015	600,000	32,985	都ホテルにて懇親会費用
会 議 費	119,702	50,000	△ 69,702	役員幹事会費用
通 信 ・ 発 送 費	236,497	250,000	13,503	会報発送料等
印 刷 費	177,450	200,000	22,550	会報印刷費
名 簿 制 作 費	52,500	60,000	7,500	名簿データ更新・管理費
保 守 費	277,620	150,000	△ 127,620	ホームページ・サーバー使用料
交 際 費	0	20,000	20,000	祝儀・不祝儀・餞別等
80 周 年 積 立	100,000	100,000	0	記念事業費用
学 校 行 事 協 力 費	39,500	50,000	10,500	卒業証書用丸筒
八 商 会 会 費	116,000	100,000	△ 16,000	
雑 費	65,525	100,000	34,475	卒業生表彰経費等
合 計	1,751,809	1,680,000	△ 71,809	

△印 前期実績比減

収入の部 6,459,762 円 - 支出の部 1,680,000 円 = 次期繰越額 4,779,762 円

同窓会「協力金」にご協力頂いた方々

ご協力誠に有難うございました。お礼申し上げます。(敬称略)

高33期 (昭和56年卒) 宗像 眞砂子	高25期 (昭和48年卒) 永村 洋子	高24期 (昭和47年卒) 土平 俊章	高24期 (昭和47年卒) 古橋 忠男	高24期 (昭和47年卒) 西村 幸広	高23期 (昭和46年卒) 玉岡 照宏	高21期 (昭和44年卒) 馬場 昇	高18期 (昭和41年卒) 半田 實	高16期 (昭和39年卒) 松本 久	高14期 (昭和37年卒) 杉浦 勇	高14期 (昭和37年卒) 足立 敏雄	高10期 (昭和33年卒) 高田 靖夫	高9期 (昭和32年卒) 秋高 清和	高9期 (昭和32年卒) 松田 侑夫	高8期 (昭和31年卒) 後藤 忠雄	高6期 (昭和29年卒) 扇谷 順介	旧5期 (昭和24年卒) 菊屋 幸男	旧3期 (昭和23年卒) 住吉 達男	旧2期 (昭和20年卒) 岡野 弘	旧2期 (昭和20年卒)
----------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	---------------------------	---------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	-------------------------	-----------------

会員の皆様へ

年々新入会員減少のため、会費の収入が少なくなっております。皆様の浄財を次の口座にお振り込み頂ければ幸いです。何卒、よろしくお願い申し上げます。

金額 1口 1,000円

★郵便振替口座
No.14160-97897591

★口座名
大阪市立住吉商業高等学校
同窓会会長 後藤 雄

◎お振込みの折りには氏名と卒業年をお忘れなく

「常任幹事」をお願いできませんか？

同窓会は会員主体で事業を行なっています。皆さまのご協力をお願いします。

(役割)

会員相互の交流と母校との連絡を図るため、同窓会長に協力して、会報発行、総会案内、総会運営、行事の参加、書類作成等の事務に携わっていただきます。

(条件)

役割を理解の上、無償で協力できる会員。

(任期)

平成25年6月〜平成27年5月総会まで、1期2年間。

(申込)

名前・住所・連絡先・卒業年・組名・クラブ名を明記の上、同窓会事務局宛て郵送ください。

(締切)

平成25年5月31日(金) 6月開催役員会のご案内をさせていただきます。

各会だよりお寄せください

◎開催年月日、場所、参加人数、招待恩師名等、箇条書きで、また、次回予告も併せ付記していただいても結構です。尚、原稿用紙1枚(400字)程度の記事と当日の写真がありましたら添えて頂ければ幸いです。

(同窓会ホームページの「連絡フォーム」→(>>詳しくはこちら)のメールアドレスを使って文章はワードデータ、写真はJPGデータで送信して下さい。なお、FAXでの写真投稿は不鮮明となりますので避けて下さい。)

【送り先】〒559-0013 大阪市住之江区御崎7-12-55
大阪市立住吉商業高等学校同窓会事務局
TEL 06-6681-0577 FAX 06-6686-1734

同窓会ホームページ <http://www.sumisyo-dousokai.com/>

交流広場への原稿もOK!

編集後記

同窓会報は本年度以降、新卒・前年卒と卒業10年毎に送付することにしました。今回は平成25年、平成24年、平成15年、平成5年、昭和58年、昭和48年、昭和38年3月卒業の会員と教職員の方に送付しています。友人お誘いの上、総会・懇親会にご参加ください。

また、クラス会記事を投稿のクラスの方、資金にご協力いただいた方にも送付しています。

電話勧誘にご注意を!!

広告企画会社(始めは個人名を名乗ってきます)から、〇〇新聞に住商特集を掲載するので協賛広告をお願いしたいという電話勧誘がありますが、母校は勿論のこと同窓会とは、一切関係がありません。名前を載せるだけで2万円ほど請求されますので呉々もご注意下さい。同窓会としても会員名簿の管理につきましては、会員の皆様にご迷惑をお掛けしないよう細心の注意をはらっております。

新卒業会員216名を迎え、会員数20,683名に!!

3月5日に卒業式が行われ、新たに216名の会員が入会されました。同窓会からは、在学中の検定試験1級合格者37名に、同窓会賞として賞状と記念品を贈呈しました。

卒業生全員の今後のご活躍をお祈りいたしております。